

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 小川駅西口及び小平駅北口地区再開発はいつ始まるのか

質問要旨

市民の方から、「小川駅西口地区再開発や小平駅北口地区再開発はいつ始まるのか」と聞かれる。本年3月に、多摩地域における都市計画道路整備方針「第四次事業化計画」でこの両地区の都市計画道路と交通広場が優先整備路線に位置づけられた。先日の環境建設委員会において、これら2地区について事務報告がなされたが、一般質問を通して市民にこれらの再開発の進捗状況や見通しについて情報提供する必要があると考え、以下6点質問する。

- (1) 小川駅西口地区再開発事業はどのような進捗状況で、現在の課題はなにか。
- (2) 小川駅西口再開発事業の総事業費はどのくらいと見込んでいるのか。
- (3) いつごろの着工、完成を目指しているのかを含め、今後の予定はどうか。
- (4) 小平駅北口地区再開発事業はどのような進捗状況で、現在の課題はなにか。
- (5) 小平駅北口地区再開発事業の総事業費はどのくらいと見込んでいるのか。
- (6) いつごろの着工、完成を目指しているのかを含め、今後の予定はどうか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成28年11月16日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 佐野 郁夫

受付番号【 】

26	25	24	23

(1 / 4)

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式

- | | |
|---|------------|
| 1 | 一括質問一括答弁方式 |
| ② | 一問一答方式 |

質問件名 家庭ごみの戸別収集、有料化は何年何月から開始するのか

質問要旨

平成17年に有料化を目指した方針からすでに10年以上が経過したが、この間、多摩26市のほとんどの市が有料化を進め、ごみの減量に取り組んでいる。昨年11月に一般廃棄物処理基本計画の一部を変更し、家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行については、平成31年度から実施とする表記になったが、小平市はどうか、いつ有料化するのかと市民から聞かれる。市がこの予定を明確に公表し周知し、市民の理解を得ようとしていないためである。実施予定まで2年あまりとなった今、具体的な日程と準備の工程を公表し、市民へ周知すべきと考え、以下4点質問する。

1. 家庭ごみの有料化、戸別収集は、平成何年何月から実施するのか。
2. 有料化実施にあたっての廃棄物減量等推進審議会の役割は何か。
3. 有料化へ移行するためには、市民の理解を得る必要があるが、どのくらいの時間をかけ、何回くらい、説明会を行う予定か。
4. 有料化実施の日程と移行プロセスを市民に対していつどのように公表、周知しようと考えているのか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成28年11月16日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 佐野 郁夫

受付番号【 】

26	25	24	23

(2/4)

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 市の防災対策は災害時に役に立つのか

質問要旨

先日開催された市民と議会の意見交換会において、市民の方から「小平は安全だという神話のような意識があり、防災対策が甘いのが心配」、「市がどのような備蓄をし、市民は何を準備したらよいのか分からないので心配」、「緊急初動要員と市の連絡体制がみえないのが心配」、「訓練が形骸化しているのが心配」など、行政の防災対策に対する心配が多数だされた。市が地域防災計画で定め実施している防災施設の整備や備蓄、訓練などの防災対策は、災害時に役に立つのか、以下6点伺いたい。

1. 本年度の総合防災訓練の目的とねらいは何だったのか。
2. 訓練を実施しての成果は何で、どのように評価しているか。
3. いっつき避難場所となっている学校で、災害時に避難してきた市民を受け入れる避難所運営マニュアルの整備と避難訓練はどの程度進んでいるのか。
4. 市外で働く多くの市民が帰宅困難になると想定される昼間に災害が発生した場合、大きな力となる中学生が参加する総合防災訓練ができないか。
5. 市民が心配している備蓄品の内容、量、保管場所を地図上に一覧で示し、防災マップや市民便利帳に示せないか。
6. 低いと言われる市民の防災意識を向上させ、災害時の自助、共助の力を高めるために何が必要だと考えているか。

平成28年11月16日

小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 佐野 郁夫

受付番号【 】

26	25	24	23

(3/4)

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 都市計画道路 3・4・10 号小平大和線が府中街道に繋がるのはいつごろか。

質問要旨

先日、都市計画道路 3・4・10 号小平大和線（以下「小平 3・4・10 号線」という）の富士見通りから西武線を潜って府中街道までの区間について、都市計画変更素案の説明会が地元で 2 日間行われた。その説明会の質疑応答で参加された住民の方からいくつか質問が出された。その中で明確なお答えがなかったものについて一般質問する。以下 8 点伺う。

1. 副道を無くせば今回の拡幅の都市計画変更は必要ないはずだが、副道はなぜ必要なのか。
2. 西武線を挟んで、東西の道路勾配が同じならば、なぜ、東側の副道が長いのか。
3. 線路沿いの地上部の副道の歩道へ掘割部の歩道から階段で直接あがれるようにできないか。わざわざ副道の終りまで遠回りするのは不便だし、やさしくない。
4. 整備効果について、投資額や地域への経済的効果を数値で示してほしい。
5. 道路で分断される南側の住民への配慮として、緑川通りにつながる既存の道路（市道 676 号など）の拡幅を同時に事業として進めてほしいが、できないか。
6. 都市計画変更案の都市計画決定・告示は平成 29 年 3 月を予定しているとのことだが、都市計画決定・告示後、事業概要説明および測量説明会までは何年くらいかかるのか。また、その後、現況測量・用地測量は何年くらいかかり、事業認可の手続きにどのくらいの時間を要し、事業認可取得は平成何年ごろを目指しているのか。
7. 事業認可を取得し、事業に着手することになってから、何ヶ月くらいで用地説明会が開けるのか。その後、用地折衝・個別協議となるが、現在の地権者の数を考慮すると、買収が終了するのは何年くらいかかると見込んでいるのか。
8. 用地折衝・協議が整い、工事説明会を開催できるのは平成何年頃か。また、説明会から工事着手まではどのくらいかかり、工事着手後、完成までの工事期間は何年くらいかかり、平成何年の事業完了を目指しているのか。

平成 28 年 11 月 16 日

小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名

佐野 郁夫

受付番号【 】

26	25	24	23

(4 / 4)